

# バトルスピリッツ幻想 混迷記

天翔ける闇払う光

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

かつて現在と未来二つの時代を救った英雄がいた

そして、その英雄の名は馬神弾

今再び彼の戦いが始まろうとしていた

# 目次

## 第一章 幻想郷

第一話 幻想入り | 1

第二話 幻想郷の賢者 | 8

第三話 賢者対光主 太陽神龍飛翔！ | 14

第四話 魔女出現!! 驚愕、異魔神ブ | 22

レイヴ! | 27

第五話 ブレイヴ対異魔神ブレイヴ! | 31

## 第二章 紅霧異変

第6話 紅き霧の異変! 四人同時バトル | 31

第七話 白の戦士出撃! イグドラシ

ル見参! | 37

第八話 霊夢の本気! 十二神皇爆走!

第九話 魔理沙対フラン! 申の十二神

皇咆哮! | 48

第十話 姉妹対光主 紅魔館頂上決戦

! | 57

第十一話 決着! 紅魔館大決戦!

66 | 79

第11・5話 これまでの軌跡弾&霊

夢編(第1章~第2章) | 79

第11・5話後編 これまでの軌跡

31



# 第一章 幻想郷

## 第一話 幻想入り

かつて、現代と過去、両方を救った1人の男がいた。

その男の名は馬神弾。

だが、未来で引き金となってしまうただの……

そして今、馬神弾の新たな物語が幕を開ける！

弾：「ここは？」

戸惑っている、1人の人間が現れた

少女：「あんた外の世界の人間？」

巫女服らしきものを着た少女は尋ねる

弾：「外の世界？というかあんた誰だ？」

弾はそう聞くと少女は答える

少女：「あたしは博麗霊夢！この博麗神社の巫女よ！」

そして少女が名乗ったのを聞くと弾も名乗る

弾：「俺は馬神弾！ただのカードバトラーさ！」

弾が名乗るとすかさず霊夢は聞き返す

霊夢：「カードバトラー？てことはあんたもアレやるわけ？」

弾：「アレってなんのことだ？」

その質問を聞いた霊夢はカードを見せてくる

霊夢：「これよ。」

弾：「バトスピ？！？ここでもバトスピが流行っているのか！」

霊夢は答える

霊夢：「ええ。そうよ。まあ、最近何処そのスキマ妖怪が流行らせただ

けなんだけどね〜」

「妖怪？」と弾は聞き返すと霊夢は

霊夢：「まあ、そのことについては後ほど教えてあげるから。それよりも人間が寝床無しで生きていくには厳しいところだし早く物件とか見つけないといけないわね〜」

そういう霊夢に弾は問いかける

弾：「じゃあどこか良い場所はないか？」

霊夢は答える

霊夢：「さあ〜。私こう見えて忙しいから自分で頑張つて〜」

弾は思った。「おそらくめんどくさいだけだな」と。

そして弾は閃いた

弾は問いかける

弾：「霊夢はバトルしないのか？」

霊夢は答える

霊夢：「そりゃ流行りには乗っからないとダメな気がするからバトルするけど？」

弾はそういう霊夢に対して挑戦状を叩きつける

弾：「じゃあ、俺とバトルしてくれ！俺が勝つたらこの場所の案内をしてもらおうか」

霊夢：「はあ？厚かましい男ね、あんた。良いわよその挑戦状受けてやろうじゃない

！」

弾：「いくぞー！」

弾&霊夢「ゲートオープン界放！」

弾「こういうバトルは久しぶりだ。」

霊夢「？」

弾「まずは俺のターンからだ！」

第一ターン

弾はブレイドラxとモルゲザウルスxを召喚

第二ターン

霊夢はコレオンと壬獣ジャガーエッジを召喚

### 第三ターン

弾はもう一体ブレイドラxを召喚、そして

弾：「霊夢、見せてやる俺のデツキのキースピリットの一体を！」

霊夢：「キースピリット!?？」

弾：「ああ、いくぞ！」

「太陽よ！炎を纏て龍となれ！太陽龍ジーク・アポドラゴン召喚！ 不足コスト

はブレイドラから確保！」

太陽龍ジーク・アポドラゴン

LVI BP4000

霊夢：「これが弾のキースピリット……」

弾：「アタックステップ！ジーク・アポドラゴン行け！アタックと同時にアタック時  
効果発揮！ジャガーエッジを指定アタック！」

ジャガーエッジはジーク・アポドラゴンとのBP勝負で破壊された

弾：「ターンエンド」

### 第四ターン

霊夢：「やってくれたわね！だったらこっちは……スタートステップ、コアステップ、ド



ローステップ、リフレッシュステップ、メインステップ！

まずは、コレオンをもう一体召喚！

そして、舞い降りなさい、炎の天馬！庚天獣レディアント・ペガス！

L V 2で召喚！不足コストは、コレオン1体から確保！そしてアタックステップ！レディアント・ペガスでアタック！さあ、どう受ける？」

弾：「ライフで受ける！」

バリーーン

ライフ5↓4

弾：「この痛みもひさしぶりだな」

といい、弾は微笑む

霊夢はそれを見て言う

霊夢：「あんたおかしな奴ね。ライフの痛みで笑みを浮かべるなんて。もしかしてM？」

その煽りに対して弾は言う

弾：「バトルを続ければ、次第に心地よくなるものさ」

霊夢は言う

霊夢：「変な奴。ターンエンド」

第五ターン

弾「このターン、一気に仕掛ける！まずは、3体目のブレイドラxを召喚！そして、砲竜バル・ガンナーを召喚！」

霊夢：「もしかして、ブレイヴ!?？」

弾：「ああ、俺が未来で手に入れたカードさ、バル・ガンナーをジーク・アポドラゴンにブレイヴ！吼えろブレイヴスピリット！」

BP4000↓BP6000

弾：「アタックステップ！行け、ブレイヴスピリット！バル・ガンナーブレイヴアタック時効果！BP4000以下のコレオンを破壊！」

霊夢：「何!?？」

弾：「ブレイヴスピリットは、ダブルシンボル！」

霊夢：「ライフで受ける！」

バリーいーン

ライフ 5↓3

霊夢：「流石に堪えるわね。」

弾：「ブレイドラ2体でアタック！」

霊夢：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ3↓1

弾：「久しぶりのバトルだった。この場所でもバトルができるなら悪くはないな。いくぞ！モルゲザウルスでラストアタック！」

霊夢：「仕方ないから、ライフで受けてあげるわ！」

バリーイーン

ライフ1↓0

弾：「楽しかったよ！ありがとうございました、良いバトルでした。」

そう言って弾は霊夢に手を差し伸べる

霊夢：「負けは負けよ。今回だけは道案内と住む場所探すくらいは手伝ってあげるわ」

弾は「ありがとう」と言って霊夢と共に歩き出した。

だが、その裏で不穏な影が忍び寄る

??? 「霊夢……」

## 第二話 幻想郷の賢者

今、弾と霊夢は人里に来ていた。

弾：「人間は人間の住む場所とか決まっているのか？」

と弾は問う

霊夢：「そういうわけでもないわ。ただ人里以外で暮らす方が危険だから人里以外で暮らす人間なんて物好きだけよ。」

こういう霊夢に再び弾は問いかける

弾：「さつきもスキマ妖怪がどうか言っていたが、この場所にはようかいがいるのか？」

霊夢は答える

霊夢：「まあ、まずはこの幻想郷について説明しましょうか。」

弾：「この場所は幻想郷というのか。」

霊夢：「そうよ。人間と妖怪の楽園なんて呼ばれ方もしてるけど、実際は人間はこの幻想郷にはほとんどいない。」

弾：「そういえばさつき、俺と会った時珍しそうな事を言ってたよな。あれはどういう

ことなんだ?」

霊夢：「?!ちよつと待つて!」

と言い、なにかの気配を感じたのか、キヨロキヨロし始めた

弾：「どうした?」

霊夢：「いるのよ!」

弾：「何がいるんだ?」

霊夢：「例のスキマ妖怪よ!」

???：「あら、さすがは博麗の巫女ね。私の気配に気づくなんて。」

霊夢：「当然でしょ? あんたとは幾度もなく鉢合わせてるからね! そんなで? おとなし

く退治されにきたわけ?」

???：「まさか。」

弾：「こいつがスキマ妖怪・・・」

霊夢：「そうよ! こいつがさつき言っていたスキマ妖怪、八雲紫よ!」

紫：「はじめまして、馬神弾。」

弾は戸惑いを隠せなかった。そして、すかさず問いかける

弾：「なぜ俺の名前を知っている?」

その問には霊夢が答える

霊夢：「それはこいつの能力に関係しているの」

弾：「能力？」

霊夢は答える

霊夢：「ええ。こいつの能力は境界を操る能力。」

弾：「境界？」

霊夢：「ええ。あらゆるものの境界から幻想郷を見ることができるようだよ。」

霊夢：「んで、退治されにきたわけじゃないってんなら何の用？」

紫は答える

紫：「その馬神弾とバトルがしたいのよ。」

弾はそのバトルという言葉に反応する。

弾：「バトル？」

紫：「ええ。あなたは腕利きのカードバトルだとして見ててわかったわ。スキマからね。」

そう言い紫は微笑む

だがその微笑みの裏には底しれぬなにかがあることは弾にはわかった

弾：「いいだろう。相手になってやる！いくぞ！」

弾&紫：「ゲートオーブン解放！」

## 第一ターン

弾：「どう出るのか楽しみだな。いくぞ！」

まずは弾のターンから始まる。

弾はブレイドラXとモルゲザウルスXを召喚

## 第二ターン

紫はさまよう甲冑を召喚、そしてバーストをセットしてさまよう甲冑でアタック

弾のライフを一つ削った

ライフ5↓4

## 第三ターン

弾はブレイドラXを召喚。そして、

弾：「太陽よ、炎を纏いて龍となれ！太陽龍ジーク・アポロドラゴン召喚！不足コスト

はブレイドラ二体から確保！」

紫：「太陽龍ね。」

弾：「アタックステップ！ジーク・アポロドラゴン、いけ！」

紫：「ライフで受ける。」

バリーイーン

ライフ5↓4

弾：「ターンエンドだ」

紫：「やはりなかなかやるわね。でもまだまだね」

弾：「どういう意味だ」

紫：「ソウルコアの真の力を見せてあげる。」

弾：「ソウルコア？」

ソウルコアという弾のいた時代では聞き慣れない単語に思わず聞き返してしまう

それに対して紫はゆっくりとした口調で答える

紫：「ソウルコアとは普通のコアと違うコア。あなたのいた時代にはなかったもの。そして、ソウルコアにはソウルコアでしか引き出せないカードの能力がある。そして、このスピリットもまたソウルコアを使うスピリット。」

バトルフィールドに異様な空気が流れる

弾：「なにか来る！」

紫：「まずはイチバンスピアーを二体召喚！そして、天より降臨せよ！万能なる魔界の使者！天魔王ゴッド・ゼクス！不足コストはイチバンスピアー一体とさまよう甲冑から確保！」

天魔王ゴッド・ゼクス

L V I B P 1 0 0 0 0



霊夢：「なんなの!! あのスピリット。弾きをつけて!」

弾：「ああ、わかってる」

(どんな効果かわからない、様子見か)

紫：「ゴッド・ゼクスの恐ろしさ思い知らせてあげる」

## 第三話 賢者対光主 太陽神龍飛翔!

弾：「ゴッド・ゼクス・・・」

紫：「ターンエンドよ。」

そういう紫にまたしても弾は困惑する

弾：「何!! あれ程ただならぬオーラをまとったスピリットを出しておいてターンエンドだと?」

紫：「あなたとのバトルをもっと楽しみたいのよ」

そう言つて紫は怪しく微笑む

弾：「なんにせよ、なにか企んでいるのは間違いないな。なら、俺のターンだ! ステータスステップ、コアステップ、ドローステップ、リフレッシュステップ、メインステップ! ジーク・アポロドラゴンをLV3にアップだ!」

LV1↓LV3

BP4000↓BP9000

弾：「アタックステップ! ジーク・アポロドラゴンでアタック! 指定アタックはしない。」

(どう出る)

紫：「ライフよ！」

弾：「何?！」

(カウンターがあつたわけではないのか?)

バリーイーン

ライフ4↓3

弾：「ターンエンドだ。」

紫：「ふふ。このターン波乱のターンとなることでしょう！天魔王ゴッド・ゼクスをLV2にパワーアップ！」

LV1↓LV2

Bp100000↓BP120000

紫：「さらに、魔王蟲の根城を配置！そしてアタックステップ！ゴッド・ゼクスでアタック！ゴッド・ゼクス、アタックステップ中の効果このスピリットにソウルコアが置いてある時、色を二色以上持つ自分のスピリットがアタックした時、相手のスピリットのコア二個をトラッシュに置く！、対象はジーク・アポドラゴン。」

ジーク・アポドラゴン

LV3↓2

B P 9 0 0 0 0 ↓ B P 6 0 0 0

弾：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ4 ↓ 3

紫：「まだ終わらないわよ。イチバンスピアーでアタック！ゴッド・ゼクスの効果発揮！イチバンスピアーは赤としても扱うため混色スピリット扱いなのよ。よって、モルゲザウルスとジーク・アポロドラゴンのコアをトラッシュユヘ！」

モルゲザウルスは消滅し、ジークアポロドラゴンのLvも下げられてしまった

弾はライフで受けるほかなかった

弾：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ3 ↓ 2

紫：「ターンエンド。」

弾：「俺のターンだな。スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、リフレッシュステツ、なっ!!」

なんとジーク・アポロドラゴンが回復しなかったのだ

本来リフレッシュステツでは疲労状態のスピリットは回復するのだが・・・

紫：「これがゴッドゼクスの六天連鎖（六天ラッシュ）の効果、色が三色以上自陣にあるとき、相手のスピリットは回復できない！」

弾：「くっ！ならメインステップ！マジック、ブレイヴローテッキから二枚ドロする。そして、デッキの上から三枚オープンする。その中のブレイヴカード一枚を手札に加える。武槍鳥スピニード・ハヤトを手札に加える！残ったカードは好きな順番でデッキの上に戻す。ジークアポロドラゴンのLVを再びLV3に！ターンエンド。」

紫：「ふーん。まあいいわ。メインステップ！ゴッド・ゼクスをLV3にアップ！そしてアタックステップ！ゴッドゼクスでアタック！効果でジーク・アポロドラゴンのコアをトラッシュに！そしてメインのアタック！」

弾：「フラッシュユタイミング！マジックサイレントロックを使用！ブレイヴしていないスピリットのバトル終了時、アタックステップを終了させる！不足コアはジーク・アポロドラゴンを消滅させて確保！そのアタックはライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ2→1

紫：「ターンエンド」

弾：「ターンをもらうぞ。だが一つ聞かせろ。お前は幻想郷の管理者みたいなものだと聞いている。だが、同じく幻想郷の秩序を守っている霊夢となぜ敵対している？」

紫はまたゆっくりとした口調で答える

紫：「それは私が妖怪で彼女が博麗の巫女だからよ」

弾：「でも、他の妖怪は霊夢と親しくしているやつをたくさん見てきた、ここに来るま  
でにな。他の理由があるんじゃないのか？」

紫：「仮にそうだとしても教えないわ。」

そしてまた怪しく微笑む

弾：（これ以上問答してもジリ貧か）

弾：「メインステップ！ブレイドラXを召喚！続けて、リバイヴドローを使用！トラッ  
シユからブレイドラXを回収、そして召喚！それぞれにコアを4つずつ置いてターンエ  
ンド！」

紫：「なにか企んでいそうな顔ね。ならそれに乗ってあげましょう。何もせずターン  
エンド。」

霊夢：「は紫がターンエンドするのを見て驚いた

霊夢：何もせずターンエンドですって！！弾の作戦に乗っかるつもり！！」

弾：「なるほどな。俺のターンだ！メインステップ！駆け上がれ！神の名を持つ赤き  
龍！太陽神龍ライジング・アポドロゴン召喚！そして武槍鳥スピニード・ハヤトを召  
喚！不足コアはブレイドラ二体から使用する！そしてスピニード・ハヤトをライジン

グ・アポロドラゴンにブレイヴ！さらに、マジックネクサスコラプス！魔王蟲の根城を破壊！そしてターンエンドだ！」

紫は興味深そうにその言葉を聞いていた

紫：「キースピリットを召喚しておいてアタックなんてよほどの自信があるようね。ならメインステップはこのままアタックステップイチバンスピアーでアタック！」

弾：「そのアタックはブレイヴスピリットでブロック！」

そしてイチバンスピアーは破壊された

紫：「ターンエンド」

弾：「なら、このターンで決める！ブレイヴスピリットをLv3にアップ！」

ライジング・アポロドラゴン＋スピニード・ハヤト

BP14000↓BP16000

弾：「アタックステップ！スピニード・ハヤトのブレイヴ時効果で白を指定、このターン指定した色を持つスピリットにブロックされた時回復する！ブレイヴスピリット行け！」

紫：「ゴッド・ゼクスでブロック！Bpはこちらのほうが上よ！」

弾：「だがブレイヴスピリットは回復する！そしてフラッシュタイムイング！ブレイヴドローを使用！ブレイヴスピリットをBP+2000！さらに、フラッシュタイムイン

グ！ブレイヴドローを使用！BPをさらに+2000、よってブレイヴスピリットのBPは20000！」

激闘の末ゴッド・ゼクスは破壊された

弾：「まだライジングのブレイヴアタック時効果が残っている！ライジング・アポロドラゴン、LV3ブレイヴアタック時効果BPを比べて相手のスピリットだけを破壊した時、相手のスピリット、ブレイヴ、ネクサスを破壊する！魔王蟲の根城を破壊！そして再びアタック！フラッシュタイムニング！マジックブーストを使用して回復させる！」

紫：「ライフよ！」

バリーいーん

ライフ3↓1

弾：「ラストアタックだ！ブレイヴスピリット！」

紫：「ライフで受ける！」

バリーいーん

ライフ1↓0

紫：「楽しいバトルだったわ。次は本気でバトルしてあげる」

そう言つてスキマに消えていった

弾：やはり本気ではなかったか。八雲紫、不思議なやつだったな。ここにもあれほど



のカードバトラーがいたとはな。次は本気のアイツを倒す！」

## 第四話 魔女出現!? 驚愕、異魔神ブレイヴ!

霊夢と弾は今人里から離れ、魔法の森に向かっていた。

弾：「この森になにかあるのか?」

と弾は問いかける

霊夢：「ここに紹介したいやつがいるのよ」

と得意げに言う霊夢を見て自分のかつての仲間の事を考える

弾：「さっきはお前の話を聞かせてもらった。だから今度は俺の話を。。。」

と自分の昔話を話そうとした瞬間

???:「霊夢〜!」

と元気な声で霊夢の名を呼びながら箒で飛んでくる少女の姿が目に入った

霊夢：「何よ、魔理沙。そっちから来てくれたわけ?」

魔理沙：「なんだ? この偉大な魔女、魔理沙様を尊敬する気にならなかったか?」

と魔理沙と呼ばれる少女は冗談交じりに言う

弾：「この子は?」

霊夢：「この子は、霧雨魔理沙。人間の魔法使いよ。」

魔理沙：「私は霧雨魔理沙だ！普通の人間の魔法使いだぜ」

弾：「俺は馬神弾！突然この幻想郷に飛ばされて来たカードバトラーだ」

弾のカードバトラーという名乗りに対して魔理沙は瞬時に反応する

魔理沙：「あんたカードバトラーなのか!!」

弾はグイグイ来る魔理沙に困惑しながらも答える。

弾：「あ、ああ」

魔理沙はそれを聞いて

魔理沙：「だったらここで会ったのもなにかの縁だ！バトルしようぜ！」

と提案してくる。そして弾は、

弾：「ああ、わかった！俺もカードバトラーだし、断るわけにはいかないしな！その挑

戦受けて立つ！」

そして二人が盛り上がっている中、霊夢が横から割って入る

霊夢：「ちよつと、まだ案内の途中でしようが！」

と不満をあらわにするが、

弾：「だが、今バトルを断ればカードバトラー失格だ！」

魔理沙：「そうこなくっちゃ！じゃあ、早速始めようぜ！」

弾&魔理沙：「ゲートオープン解放！」

第一ターン

弾は、ブレイドラXとイグア・バギーを召喚し、ターンエンド

第二ターン

魔理沙は、クダギツネンとガトープレパスを召喚し、バーストをセットしてターンエンド

第三ターン

弾は戦竜エルギニアスを召喚し、マジックブレイヴドロウを使用し、デッキから二枚ドロウしてターンエンド

第四ターン

魔理沙は、クダギツネンをもう一体召喚、そして賢獣スピックスを召喚し、ターンエンド

そして第五ターンを迎えた

弾：「動かないんだな。」

魔理沙：「まあな。どでかいやつを召喚する準備だぜ！」

弾：「どでかいやつ?! 魔理沙ときつき話していてわかった、あいつはブラフを使うようなやつじゃない。つまりあいつのあの言葉に嘘偽りはない。なら、早く勝負を決めないとまずいかもな。」

弾：「スタートステップ、コアステップ、ドローステップ、リフレッシュステップ、メインステップ！ 駆け上がれ神の名を持つ赤き龍！ 太陽神龍ライジング・アポドラゴン、召喚！ 不足コストはブレイドラとエルギニアスから！」

魔理沙：「こいつが弾のキースピリットか。かかってこいよ、弾！」

弾：「揺さぶりをかけてみるか。アタックステップ！ ライジング・アポドラゴン！ 紅の翼はためかせよ！」

弾：（どう出る？）

魔理沙：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ5↓4

弾：「バーストは開かないか……。だったらイグア・バギー続け！」

魔理沙：「それもライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ4↓3

魔理沙：「お陰様でバーストが発動できるぜ！ ライフ減少によりバースト発動！ 魅惑の霸王クレオパトラスのバースト効果自分のライフが三以下の時このスピリットを召喚する！」

バースト効果によってクレオパトラを模したスピリットが姿を現す

弾：「ターンエンドだ」

魔理沙：「私の番だぜ！メインステップ！見せてやる、天地を揺るがす魔神の力！異魔神ブレイヴ、天魔神、召喚！これが、私の異魔神ブレイヴだ！」

## 第五話 ブレイヴ対異魔神ブレイヴ！

魔理沙：「こいつが私の異魔神ブレイヴだ！天魔神！スピックス、クレオパトラスにブレイヴだ！」

そうして天魔神は手のひらからレーザーのようなもの出し、クレオパトラスとスピックスに撃げた

弾：「二体のスピリットにブレイヴだと!!」

魔理沙：「そうだ！これが異魔神ブレイヴの力だ！アタックステップ！クレオパトラス、アタックだ！同時に天魔神、右ブレイヴ時の効果！B p 6 0 0 0 以下のスピリットを破壊！すなわち、ライジング・アポロドラゴンを破壊！さあ、どう受ける！」

弾：「ライフだ！」

バリーイーン

ライフ5↓3

魔理沙：「まだ終わらないぜ！もう一体のブレイヴスピリットでアタックだ！左ブレイヴ時の効果！このターンの間イグア・バギーのBPを—4 0 0 0！」

弾：「その攻撃もライフで受ける！」

魔理沙：「これで、残りライフはあと一つだな。この勝負私の勝ちだぜ！ガトーブレパスでアタック！」

弾：「フラッシュタイミング！マジック、サジツタフレイムを使用し、BP合計5000まで破壊する！よって、クダギツネンとガトーブレパスを破壊！」

魔理沙：「でも有利なのは変わらないぜ！ターンエンド」

弾：「だったら俺は来たカードに応える！ドローステップ、リフレッシュステップ、メインステップ！マジック、リバイヴドローを使用！トラッシュのライジング・アポロドラゴンを手札に加える！ブレイドラXとイグア・バギーを召喚！そして、再びライジング・アポロドラゴン召喚！LV2だ！不足コストはブレイドラとイグア・バギーから！さらに、武槍鳥スピニード・ハヤトを召喚する！不足コストはライジング・アポロドラゴンとイグア・バギーから！イグア・バギーは消滅！そして、スピニード・ハヤトをライジング・アポロドラゴンにダイレクトブレイヴ！アタックステップ！スピニード・ハヤトのブレイヴ時効果で黄色を指定！このターン黄色のスピリットにブロックされた時回復する！行け、ブレイヴスピリット！クレオパトラスに指定アタック！黄色のスピリットにブロックされたので回復！」

激闘の末、クレオパトラスは破壊された

弾：「まだまだ！もう一度ブレイヴアタック！次はスピックスに指定アタックだ！そし



でもう一度回復だ！」

そして、スピックスも破壊された

魔理沙：「残ったのは天魔神だけか」

弾：「これが来たカードに応えるということだ。ターンエンド。次はお前のターンだ、魔理沙」

魔理沙：「ドローステップ！くっ！」

魔理沙は苦悶の表情を見せた。それもそのはず、なぜなら、魔理沙の手札にスピリットカードはなかったからだ

魔理沙：「ここまでかな、ターンエンド」

弾：「このターンが真正銘のラストターンだ！メインステップはなにもしない。続けてアタックステップ！ブレイヴスピリットでアタック！さらに、フラッシュタイミン  
グ！マジックブーストを使用！ライジング・アポドラゴンを回復させる！」

魔理沙：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ3↓1

弾：「もう一度ブレイヴアタック！これで終わりだ！」

魔理沙：「ライフで受けてやる！」

バリイーン

ライフ1↓0

魔理沙：「私の負けか。」

と言い、わかりやすくへこむ

弾：「だが、楽しかったよ、面白いものも見れたしな。ありがとうございました、いいバトルでした！」

魔理沙：「お前も大概面白いよ！」

と二人で笑っていた、そう二人で。

霊夢：「あ・ん・た・た・ち・ね。どんだけ待たされたと思ってんのよ！」  
と霊夢にすごく怒られてしまった

## 第二章 紅霧異変

### 第6話 紅き霧の異変！ 四人同時バトル！！

弾と霊夢と魔理沙は霧の湖に突如現れた紅い館に来ていた

その経緯を説明するために話は数十分前に遡る

弾と霊夢と魔理沙で話をしていた時に例の異変は起こった

弾：「ん？何？空が紅くなっている！！」

霊夢：「これは・・・弾！話は一旦中断よ！魔理沙、とりあえずこの異変解決するわよ！」

弾：「この紅い空は何なんだ？」

霊夢はそっけなく答える

霊夢：「さあ？でもどこかにこの異変の首謀者がいるはずよ！」

弾：「今の霊夢の口ぶりから察するに、この現象は幻想郷に住む誰かの能力によって引き起こされているということか。」

霊夢：「そういうこと。こういう異変のときはバトルにに応じてくれるかわからないし、

弾は神社に戻ってなさい！」

そう言う霊夢に対して弾は、

弾：「俺も行く!俺も連れて行ってくれ!」

魔理沙：「あのな!特殊な力も何もないお前は命の危険すらあるんだぞ!なのに連れていけるか!」

と必死に止める魔理沙に対して、霊夢は、

霊夢：「魔理沙、無駄よ。こいつの目、無理矢理にでもついていくって目しているもの。いざとなれば私達が守ればいいんだし。」

と霊夢は魔理沙に言う。それを聞いて魔理沙は、

魔理沙：「わかったよ!だったら、私の箒と一緒に乗れ!ま、お前みたいなやつは面白いけどな!」

弾：「ありがとう!よし行くぞ!」

霊夢：「言われなくても、出発するわよ」

そうして少し進んだところで弾はふと疑問に思ったことを聞く

弾：「そういえば、異変の首謀者の居場所わかってるのか?」

霊夢：「そんなの決まってるじゃない!わかるわけ無いでしょ!」

弾：「じゃあ俺たちは今どこに向かっているんだ?」

霊夢：「私の勘で霧の湖に向かっている」

そう霊夢が言うと、魔理沙は弾に、

魔理沙：「弾、気をつけるよ、霊夢こういうところあるからな。」

と魔理沙が言うと、

霊夢：「悪かったわね！勘で動く女で！」

と少し不機嫌になったところで霊夢はなにかに気づく

霊夢：「魔理沙少しスピード緩めて！接触する！」

魔理沙：「何とだよ！まあ、緩めるけどさ！」

緩めた瞬間目の前すれすれを金髪の少女が飛び込んできた

霊夢：「あれは、ルーミアじゃない！とりあえずお腹が空きすぎて見境なしに襲ってるところかしら？ま、弾幕で落ち着かせますか！」

そして、霊夢が低火力の弾幕をルーミアに放った

ルーミア：「ん〜。あれ？私は何をしていたのだ？」

その問いに対して弾は、

弾：「君はお腹が空きすぎて俺たちを食べようと襲ってきたらしい、霊夢の話ではな！それで、一つ教えてほしいんだけど、この紅い霧はどこから出てきたかわかるか？」

と弾が聞くと、ルーミアは、

ルーミア：「ああ、それなら霧の湖の先にでかくて紅い家が突然現れたのだ〜」

その話を聞いた弾たちは、

弾：「早くも当たりかもしれないな。行ってみよう！」

そして、冒頭のシーンに戻ってくるのだ

???：「あなた達、ここから先へは行かせません！」

霊夢：「弾はこのまま真つ直ぐ進んで！魔理沙は裏から回り込んで！」

???：「行かせないと言ったはず！」

霊夢：「あんたの相手は私だって言ってるのよ！」

???：「なら、私の名は紅美鈴！レミリアお嬢様の住む紅魔館の門番です！」

霊夢：「私は、

そして弾の視点に移る

弾：「ここが玄関か。広いな。」

???：「あら、美鈴は何をしているのかしら？侵入者を屋敷の中に入れるなんて。後で説教かしらね。まあ、私が侵入者を排除すればいいだけね。」

弾：「あんた、誰だ？」

と、弾は白髪のメイド服の女性に尋ねる

???：「私は紅魔館の主、レミリアお嬢様に仕える人間のメイド十六夜咲夜ですわ。」

弾：「俺は馬神弾。外の紅い霧を止めに来た。」

咲夜：「なら、やはり敵ということですわね。では、これで決めましょう。これなら公平でしょ？」

と咲夜はバトスピカードを弾に提示しながら言う

弾：「いいだろう！受けて立つ！」

そして、またまた場面が切り替わり魔理沙の視点へ

魔理沙：「でつかい図書館だなく、こりや。一冊くらい盗んでもバレないよな！」

と魔理沙が堂々と図書館の本を盗もうとしていたときだった

???：「あなた何しているんですか?!まさか、侵入者ですか?!パチュリー様！侵入者です

！それも泥棒です！」

パチュリー：「あなた、ここの本盗もうとしていたの?」

魔理沙：「盗むとは人間が悪いぜ！ただ、死ぬまで借りていこうとしただけだぜ！」

と、潔すぎるくらいに開き直った

魔理沙：「んで、あんたは?」

パチュリー：「私はこの大図書館の管理人みたいなものよ。」

???：「私は小悪魔と言います！」

魔理沙：「まあ、この紅魔館にいるということは敵なのは間違いないな！」

パチュリー：「ええ、そのとおりよ！レミイの邪魔をする気なら容赦はしないわ！」

魔理沙：「だったらバトスピで決めようぜ！私が勝ったらここは通してもらおうぜ！」  
パチュリー：「いいけれど、あなたは一人こっちは二人よ、あなたの勝ちは一にもないわ」

魔理沙：「たしかにな・・・」

完全にまづいと思っていたその時、

あたり一面が謎の光によって包まれた

そして、

???：「ここは・・・ん？バトスピをしようとしていたところだったのかな？だが、2

対1のようだね、君の名前は？」

魔理沙：「私は霧雨魔理沙だ！」

???：「俺は、百瀬勇貴だ。加勢させてもらおう。いいかな？」

パチュリー：「いいわよ。これでやっと五分になっただけだし。」

その時弾もバトルを始めようとしていた時、

弾：「!!今の感覚は!!お前も力を貸してくれるのか！勇貴！よし、だったら四人同時バトルだ！」

四人：「ゲートオープン解放！」



## 第七話 白の戦士出撃！ イグドラシル見参！

四人：「ゲートオープン解放！」

勇貴視点 第一ターン

小悪魔：「この方の雰囲気、尋常ではありませんね」

勇貴：「君のターンからだ」

小悪魔：「わかってます！ドローステップ！メインステップ！スカルデビルを召喚！  
ターンエンドです！」

スカルデビルを召喚しただけでターンエンドした

勇貴：「それで、いいのかい？なら、俺のターンだ。メインステップ。ネクサス、賢者の樹の実を配置！ターンエンドだ」

小悪魔：「賢者の樹の実？厄介なネクサスですね……。なら、バイ・パイソンを召喚します！こちらは数で勝負させていただきます！アタックステップ！バイ・パイソンでアタック！アタック時効果でデッキから1枚ドローします！」

勇貴：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ5↓4

さらにここで賢者の樹の実の効果が発揮する

勇貴：「賢者の樹の実の効果、相手によってライフが減らされた時、ボイドからコア1個をリザーブに置く」

小悪魔：「ターンエンド」

勇貴：「俺のターンだ。メインステップ!もう一枚賢者の樹の実を配置!さらに神機グングニルを召喚!アタックステップ!グングニルでアタック!」

小悪魔：「ライフで受けます!」

バリーイーン

ライフ5↓4

勇貴：「ターンエンド」

小悪魔：「ここが正念場ですね……。メインステップ!スカルデビルを召喚、さらにバイ・パイソンをもう一体召喚!アタックステップ!スカルデビル二体でアタック!」

勇貴：「二体ともライフで受ける!」

バリーイーン

ライフ4↓2

勇貴：「賢者の樹の実の効果でリザーブにコア四個を増やす」

小悪魔：「まだ続きますよ！バイ・パイソんでアタック！アタック時効果で1枚ドロ  
します！」

勇貴：「フラッシュユタイミング！」

小悪魔：「えっ!!」

勇貴：「マジック、ブリザードウォール！このターンの間、俺のライフはブロックされ  
なかった相手のスピリットのアタックでは1しか減らされない！ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ2↓1

勇貴：「さらに、賢者の樹の実の効果でコアを増やす」

小悪魔：「ターンエンドです！」

勇貴：「なら、ターンをもうごぞ。メインステップ！そびえよ！美しき鋼の城！鉄騎皇  
イグドラシル召喚！召喚時効果でBP3000以下のスピリットすべてを手札に戻す  
！さらに、鋼の如き、氷河を砕き現れよ！絶対零度の軍神！鎧神機ヴァルハランス召喚  
！アタックステップ！グングニルでアタック！」

小悪魔：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ4↓3

勇貴：「続くぞ! イグドラシルでアタック!」

小悪魔：「そのアタックもライフで!」

バリーイーン

ライフ3↓2

勇貴：「さらにヴァルハランスでアタック!」

小悪魔：「ですが、アタックはもう終わりです!」

勇貴：「まだだ! フラッシュユタイミング、キャバルリーを使用! 自分のスピリットすべてを回復させる!」

小悪魔：「そ、そんな!! ライフで受けます!」

バリーイーン

ライフ2↓1

勇貴：「これで最後だ。イグドラシルでアタック!」

バリーイーン

ライフ1↓0

勇貴：「さて、彼女の方はどうなっているのかな?」

と魔理沙がバトルしている映像の方に目をやった後、ある少年がバトルしているのが目に入った

勇貴：「弾！そうか、君もこっちに来ていたのか！」

## 第八話 靈夢の本気!十二神皇爆走!

弾視点

弾：「あんたとのバトルはこれでケリを付ける!太陽神龍ライジング・アポロドラゴンでアタック!」

咲夜：「くっ!シラヌイでブロック!」

弾：「シラヌイは白!よって、スピニードハヤトのブレイヴ時効果で回復だ!さらにシラヌイをBP勝負で破壊する!そして、ライジング・アポロドラゴンのLV3ブレイヴアタック時効果でトリプルヘビーを破壊!そして、これがラストアタックだ!ライジング・アポロドラゴンでアタックだ!」

咲夜：「ライフで受けます!」

バリーイーン

ライフ2↓0

魔理沙視点

魔理沙：「こっちも決めるぜ!クレオパトラスでアタック!天魔神の追撃!BP6000以下のスピリットを破壊!これでとどめだ!」

バリイーン

らいふ2↓0

魔理沙：「あとは、霊夢だけか。」

霊夢視点

もちろん霊夢もバトルをしていた。

だが、相手の紅美鈴のバーストデッキに翻弄されていた

霊夢：「バーストばかりじゃない！正々堂々戦いなさいよ！」

と明らかに不満を口にする

これに対して美鈴は

美鈴：「バーストも立派な戦略の一つですよ！文句言われる筋合いなんてありません

よ！」

と返す。美鈴の反論は最もである

美鈴：「それにしても、少しがっかりしましたよ！お嬢様に盾突くと言って置きながらこの程度の実力とは。この程度ではお嬢様の足元にも及びません！まあ、入っていた他の人達も直に咲夜さん達が排除してくれると思いますし、こちらもさっさと片付けますか。メインステッパ！バーストセット！続けて、カキューソとバリバーンを召喚！アタックスステッパカキューソでアタック！」

靈夢：「ライフよ!」

バリーイーン

ライフ2→1

美鈴：「これで終わらせませす!バリバーンで・・・」

靈夢：「まだよ!バースト発動!絶甲氷盾!バースト効果でライフを一つ回復!さらにフラッシュ効果!アタックステップを終了させる!」

ライフ1→2

美鈴：「凌がれましたか・・・。ターンエンド」

靈夢：「こつから一氣に決めてやるわ!舞い上がれ、炎の天馬!庚天獣レディアント・ペガス!アタックステップ!レディアント・ペガスでアタック!」

美鈴：「ライフで受けます!」

バリーイーン

ライフ3→2

美鈴：「攻撃してくれたこと、感謝しますよ。バースト発動!バースト効果、自分のライフが三以下の時BP15000以下の相手のスピリットを破壊します!当然、レディアント・ペガスを破壊します!さらにこの効果発揮後このスピリットを召喚します!燃え上がれ!赤き龍!熱く、激しく、魂の雄叫びを今ここに!霸王xレア、龍の霸王ジ



ク・ヤマト・フリード、召喚！」

霊夢：「ターンエンド」

美鈴：「さて、このターンで決めましょうか。ジーク・ヤマト・フリードのLVを4に上げます！そしてアタックステップジーク・ヤマト・フリードでアタック！アタック時効果で自身のBP以下の相手のスピリットを破壊！よって、20000以下のドラリオンを破壊！さあこのアタックはどう受けますか！」

霊夢：「ここで負けたら、博麗の巫女の名折れなのよ！フラッシュタイミング、マジック絶甲氷盾！このバトル終了時アタックステップを終了させる！」

美鈴：「二度までならず、二度までも！」

霊夢：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ2→1

美鈴：「ターンエンド」

霊夢：「今度こそこのターンで決める！ドローステップ！このカードなら！リフレッシュステップ！メインステップ！まずはコレオンを二体召喚！さらにマジック！エンペラードロー！ここで決め手を引ければ！効果で二枚ドロー！来た！そしてさまよう天空寺院を配置！そして私のキースピリットを見せてあげる！出てこい、私のキー

スピリット!疾風の如く大地をかける!召喚!午の十二神皇エグゼシード!」

美鈴：「何?!十二神皇?!まさか、十二神皇を使ってくるとは・・・」

靈夢：「このターンであんたは確実に終わるわ!アタックステップ!エグゼシードでアタック!それと同時にアタック時効果!封印!エグゼシードのソウルコアを私のライフに!封印!封印時の効果!走破!ジーク・ヤマト・フリードを指定アタック!そして破壊!」

美鈴：「ですが、これでエグゼシードのアタックは終わりです!」

靈夢：「いいえ、まだよ!エグゼシードの走破にはまだ続きがある!エグゼシードはブロックされたバトルの終了時、シンボルの数だけ相手のライフをリザーブに置くことができるのよ!」

美鈴：「そんな?!申し訳ございません、お嬢様」

靈夢：「これで終わりよ!ライフを2つ破壊!」

バリーイーン

ライフ2→0

靈夢：「後は、弾達と合流して館の主のいるところに向かって退治するだけね・・・。さつさと終わらせますか!」

と言う靈夢をあざ笑うかのように紅魔館の地下にまだ秘密があることを靈夢たちは

まだ知らない

## 第九話 魔理沙対フラン!申の十二神皇咆哮!

### 魔理沙視点

魔理沙と勇貴が弾や霊夢と合流しようと歩みを進めようとしたその時地下に続く階段があることに気がついた。

魔理沙：「これは・・・階段だな。行ってみようぜ!」

勇貴：「あまり先に進みすぎないほうがいい。危険だ!」

と魔理沙に先に行かないよう促す

だが、魔理沙は聞く耳を持たず先へ進んでいった。

魔理沙：「勇貴!なんか、扉があつたぞ!」

と指を指して勇貴に伝える

勇貴：「ここまで来たんだ。入ってみよう。赤の光主ならそうするだろうからね。」

魔理沙は聞き慣れない単語に疑問を持ったが、一旦は扉を開けて、入ってみることにした

魔理沙：「普通に広い部屋だが・・・。妙に物が散乱しているな。」

とあたりを見渡していたその時

???：「あなた達誰？」

その少女は不思議そうに聞いてきた

???：「私はフランドール・スカーレット。この紅魔館を統べるレミリア・スカーレットの妹よ。そして種族は見ての通り吸血鬼よ！」

魔理沙：「私は霧雨魔理沙だ！お前、妖怪だな！退治してやるぜ！」

とカードを取り出そうとしたその時

勇貴：「待て！彼女に敵意はなさそうだ。俺は百瀬勇貴だ。」

と魔理沙に言い、フランに自己紹介する

魔理沙：「んで、お前はこんな汚い場所に住んでいるのか？」

と尋ねる

フラン：「うん。お姉さまに言われてここに五百年近くいるの」

とフランが言ったことに対して魔理沙は

魔理沙：「ご、五百年!？」

フラン：「正確な年月は忘れたけど、多分それぐらい」

それを聞いた魔理沙は

魔理沙：「ここから出たいとは思わないのか？」

その問に対してフランは

フラン：「出たい。でも、ここから出たらお姉さまやみんなに迷惑かけちゃうから……」  
と口籠るフランを見て魔理沙は

魔理沙：「ああくめんどくさいな！お前の人生だろ！なんで誰かに言われたからってそんなところにいきやいけないんだ?! だったらお前は死ぬって言われたら死ぬのか?! 死なないだろ！出たいと思うんだったら、まずは自分の気持ちに正直になれよ！他人のことなんかその後だ！」

と魔理沙はフランに怒鳴る

フラン：「でも私、お姉さまに迷惑かけたくないし……」

というフランに対して魔理沙は

魔理沙：「まったく、しゃーないな！ だったらバトルだ！ 私が勝ったらお前は自分の姉ちゃんに直談判な！ 私が負けたらお前の好きにしてい！」

となかなか強引な条件でバトルが始まろうとしていた

魔理沙：「いくぜ！」

魔理沙&フラン：「ゲートオープン解放！」

第一ターン

まずは魔理沙のターンから始まった

魔理沙はガトープレパスを召喚し、ターンエンド

## 第二ターン

フランはバーゴイルを召喚し、コアブーストしてターンエンド

## 第三ターン

魔理沙は夢中漂う桃源郷を配置してターンエンド

## 第四ターン

フランはビートルゴンLV4で召喚し、邪神域を配置してターンエンド

お互いに足場を固める形となった

## 第五ターン

魔理沙：「そろそろ仕掛けさせてもらうぜ！賢獣スピックスを召喚！さらにここで桃源郷の効果発揮！自分が想獣を持つスピリットを召喚した時、デツキから1枚ドロース！さらにシヤラバを召喚！またまた桃源郷の効果で1枚ドロースるぜ！そして、バーストセット！ターンエンドだ！」

勇貴：「彼女のデツキは夢中漂う桃源郷でドロースを加速しながら数でごりおすタイプのデツキのようだな。だが、あの少女の使うカードは俺のいた場所では見たことがない。やはりこの場所特有のカードなのか？」

## 第六ターン

フラン：「ソウルコアを支払って、カゲロウ・シーカーを召喚！その召喚時効果でデツ

キの上から三枚オープン!その中のアルティメットカードを一枚回収できる!」

魔理沙：「アルティメットをサーチだと!」

勇貴：「あの金色のカードはアルティメットというのか。やはり俺のいた場所にはなかったカテゴリーのカードだ。」

フラン：「その中のイビルフリードを回収するわ!アタックスステップ!バーゴイルでアタック!」

魔理沙：「いきなりかよ!ライフで受ける!」

バリーイーン

ライフ5↓4

フラン：「続けてビートルゴンでアタック!」

魔理沙：「ライフで受ける!」

バリーイーン

ライフ4↓3

魔理沙：「ライフ減少によりバースト発動!魅惑の霸王クレオパトラス召喚!」

フラン：「ターンエンドよ」

魔理沙：「お前、今迷ってんだろ?」

フラン：「別に、迷ってなんか・・・」



魔理沙：「いいや迷ってる。今のままでいいのか？ってな感じで迷ってる。って私は感じるぜ！もつと自分の心と正面から向き合えよ！実際お前ら姉妹のことにあまり首突っ込むつもりはないけどさ！さつきも言ったけどお前の人生なんだ！お前が決める！誰かに選択なんか委ねるな！」

### 第七ターン

魔理沙：「見せてやるぜ、天地を揺るがす魔神の力！召喚、異魔神ブレイヴ天魔神！天魔神、クレオパトラス、スピックスにブレイヴだ！アタックステップ！クレオパトラスでアタック！アルティメットに天魔神の効果は効かないが、ライフは2つもらうぞ！」

フラン：「ライフで受ける！」

ライフ5↓3

魔理沙：「まだまだいくぜ！スピックスでアタック！」

フラン：「フラッシュタイムニング！マジック、リミテッドバリア！このターンの間コスト4以上のスピリット／アルティメットのアタックではライフは減らない！ライフで受ける！」

魔理沙：「ターンエンドだ！なあさつきの話の続きだけどさ。何事も動いてみないと始まらないぜ！な！」

フラン：「あなたに何がわかるの？何も知らないくせに知ったような口をきくな！」

魔理沙：「?!なんかやべー感じが伝わってくるぜ」

勇貴：「このオーラ尋常ではない」

そう勇貴の言う通りフランからはおびただしい量の禍々しいオーラが出ていたのだ

フラン：「アハハハ!全部ぶっ壊してあげる!」

勇貴：「これは暴走しているのか?!」

魔理沙：「フラン!」

フラン：「いくよ!今こそいでよ!究極の闇を纏いし炎よ!地獄の業火で世界を黒く染め上げろ!アルティメット、召喚!獄炎の四魔卿ブラム・ザンド!」

魔理沙：「まさかこいつがフランのキーカード・・・」

フラン：「ブラム・ザンド、全部壊しちゃって!アタック時効果ソウルドライブ、発揮!」

魔理沙：「ソウルドライブ?!」

フラン：「ソウルコアをゲームから除外することで相手のスピリットをすべて破壊する!さらに次の私のターンまであなたはスピリットカードを召喚できない!」

魔理沙：「なんだと?!ライフだ!」

ライフ3↓2

フラン：「ターンエンドよ！アハハハ！」

魔理沙：「このターンは何もできない……。ターンエンドだ」

フラン：「メインステップ！ブラム・ザンドをLV5にアップ！アタックステップ！ブラム・ザンドでアタック！」

魔理沙：「そう簡単に負けてたまるか！フラッシュタイミング！マジックシンフォニックバースト！このバトルの終了時私のライフが2以下ならアタックステップを終了させる！ライフだ！」

バリーイーン

ライフ2↓1

フラン：「でも、私の勝ちに変わりはない！アハハハもう負けを認めちゃったら？」

魔理沙：「認めるもんか！さつき会ったばかりだけどき、お前、ほんとそんなことをするようじゃやないって思ったんだ。だから、私が目を覚まさせてやるぜ！轟け、我が魂の叫び！戦いの嵐を呼び起こせ！申の十二神皇ハヌマーリン！召喚時効果で封印！リザーブのソウルコアをライフに！桃源郷の効果で1枚ドロロー！天魔神にハヌマーリンをブレイヴだ！さらにメインでマジックマジック双翼乱舞！デッキから二枚ドロロー！そして、アタックステップ！ハヌマーリンでアタック！フラッシュアクセル申道士オンコット！ハヌマーリンの効果でノーコストで使用！黄のスピリット全てにシ

ンボルを追加!さらに召喚!さらにオンコット!黄のシンボルを追加し、召喚!さらにアクセル天使コーマ!このターンの間お前のスピリット/アルティメット全てはアタックもブロックもできない!そして、ハヌマーリンのシンボルは4つ!いけ!ハヌマーリン!

フラン:「そんなバカな!ら、ライフで受ける!ぐわああ」

バリーイーン

ライフ3↓0

魔理沙:「さて、約束だぜ!お前の姉ちゃんここに直談判しに行こうぜ!一応私達もついていってやるから!な!」

フラン:「ありがとう!」

勇貴はフランと魔理沙に昔の自分と妹の姿を重ねていた。

その頃弾と霊夢は

霊夢:「いつまで待たせんのよ!」

と霊夢がぼやいているのを弾がただ聞くだけという構図ができあがっていたのだった

## 第十話 姉妹対光主 紅魔館頂上決戦！

魔理沙と勇貴、そしてフランは屋敷の最奥部まで来ていた

魔理沙：「じゃあ、入ろうぜ！」

キイイイと重々しい音を立てながら扉が開いた

レミリア：「ん？フラン、そんなところで何をやっているの？それに、侵入者まで連れてきて……。フラン、早く部屋に戻りなさい！」

フラン：「お姉さま！私は、もうお姉さまの言うことは聞かない！お姉さまを倒して、外に出るわ！」

レミリア：「いつから、そんなに物分かりが悪くなったのかしら……。なら、かかってきなさい！」

と二人の吸血鬼はエネルギーで作り出した武器を持って戦い始めた

その頃弾と霊夢は……

弾：「もしかしたら、魔理沙たちは先に行っているのかもしれない！俺たちも行ったほうがいいかもしれない！」

霊夢：「はあく。たしかに、ここで待っていても埒が明かないわね。とりあえず、先に

進みましょう!」

そして再び魔理沙たちの視点に戻る

フラン：「お姉さまは、いつも私を仲間外れするんだから!」

レミリア：「フラン、それはあなたをまもるためよ!」

そして、その攻防を魔理沙が見ていると、霊夢と弾がやってきた

霊夢：「魔理沙、バトルが終わったら、一度玄関に集合って話だったわよね!なんで先に進んでいるのかしら?」

と霊夢が怒りをあらわにしているとき弾は、

弾：「やつぱりお前だったんだな、勇貴!」

勇貴：「ああ、君もここにきていたのは驚いたよ。」

弾：「俺もだ。」

そして、霊夢はあることに気づく

霊夢：「あれ?ここ最奥部よね?なんで、館の主と戦ってないのよ?」

と疑問を抱く

魔理沙：「あれ、見てみる!」

そう言われると魔理沙の指差す方に目を向ける

霊夢：「あ、あ、あんた、たまには粹な事するじゃない!私の仕事を減らしてくれるな

んて！」

と明らかに嬉しそうにしている

そして、フランとレミリアのリアルファイトに戻る

フラン：「これで、終わらせるわ！」

と武器を振り下ろした瞬間、レミリアによつて弾かれ、貫かれると思つた瞬間

フラン：「え？」

レミリアはフランを抱きしめていた

レミリア：「ごめんなさいね。あなたの気も知らないで。でもね、この霧がこの幻想郷を覆い尽くせば私達吸血鬼は自由に外に出られる。思いっきり遊ぶことができるのよ。

一緒に戦つてくれるかしら？」

フラン：「わかつたわ、お姉さま。魔理沙！ていうことで私はお姉さまに着くわ！」

魔理沙：「いいぜ！お前の決めたことだからな！」

フラン：「ありがとう、魔理沙！」

レミリア：「なら、改めて、自己紹介よ！私はこの紅魔館の主にして、最強のカリスマ

吸血鬼レミリア・スカーレットよ！」

フラン：「その妹のフランドール・スカーレットよ！」

霊夢：「博麗霊夢よ！博麗の巫女の名において、退治させてもらうわ！」

魔理沙：「普通の魔法使い、霧雨魔理沙だ！」

弾：「赤の光主、馬神弾だ！」

勇貴：「白の光主、百瀬勇貴だ！」

それぞれの名乗りが終わった

弾：「霊夢、魔理沙！俺たちにやらせてくれ！」

と弾は二人に頼んだそして、

霊夢：「はあ？さっきかつこよく名乗ったばかりなんだけども」

と、霊夢が不満を口にする中、魔理沙は、

魔理沙：「私はいいぜ！二人のバトル気になるし。」

霊夢：「わかったわよ！その代わり、絶対に勝ちなさいよ！」

弾：「ありがとう！勇貴、行こう！」

勇貴：「ああ！」

レミリア：「話し合いは終わったかしら？」

弾：「ああ！それじゃあ、始めようか！」

四人：「ゲートオープン解放！」

第一ターン

弾：「勇貴、お前とは初めてのタッグバトルだな！」



勇貴：「グラン・ロロにいた時は組んだことなかったからね」

弾：「この勝負、絶対に勝つ！俺のターンからだ！スタートステップ、ドローステップ、メインステップ！ブレイドラXを二体召喚！さらにマジックブレイヴドロロー！まずは、デッキから二枚ドロロー、そして、デッキの上から三枚オープン、その中のブレイヴカードを一枚手札に加える。残りは好きな順番でデッキの上に戻す。雷神砲カノン・アームズを手札に加える！ターンエンド」

レミリア：「じゃあ、私のターンね！メインステップ！クリスタニードルを二体召喚！さらに、アメジスネークを召喚！召喚時効果で一枚ドロロー！ターンエンド！」

勇貴：「俺のターンだ。メインステップ！レーヴァティンを召喚！ターンエンドだ」  
フラン：「じゃあ私のターン。バーストセットして、ターンエンド」

弾：「動かないか……。なら、メインステップ！レーヴァティンのLVを2にパワーアップ！さらに、マジックリバイヴドロローを使用し、デッキの上から二枚ドロロー！」

フラン：「かかったわね！バースト発動！甲殻伯メタリフェル！相手のスピリットをBP合計20000まで破壊する！よって、ブレイドラを二体破壊！そして、LV4で召喚！」

弾：「ターンエンドだ」

レミリア：「メインステップ！バーストセット！アタックステップ！アメジスネーク

でアタック！」

弾&勇貴：「ライフで受ける！」

バリーいーん

ライフ8↓7

レミリア：「ターンエンドよ！」

勇貴：「なら、俺のターンだ。ネクサス賢者の樹の実を配置。さらにもう一体レーヴァテインを召喚！アタックステップ！レーヴァテインLV2でアタック！」

レミリア&フラン：「ライフで受けるわ！」

バリーいーん

ライフ8↓7

勇貴：「ターンエンドだ」

フラン：「なら、私のターン！メインステップ！バーストをセット！カゲロウ・シーカーを召喚！召喚時効果で、コストの支払いにソウルコアを使用していたとき、自分のデッキの上から三枚オープン！その中からアルティメットカードを一枚手札に加える。残ったカードは破棄する。獄炎の四魔卿ブラム・ザンドを回収するわ！」

弾：「ブラム・ザンド……。」

勇貴：「彼女のキーカードだ！そして、アルティメットにスピリット対象の効果は効か

ないらしい……。」

弾：「つまり、俺達のカードではアルティメットに太刀打ちできないということか……。」

勇貴：「ああ！だが、あのアルティメットが来る前にライフを削りきればいい！」

弾：「お前の言うとおりだ！やるぞ！」

フラン：「まだ、私のターンは終わってないよ！アタックスステップ！メタリフェルでアタック！アタック時効果、アルティメットトリガーロックオン！」

そう言う勇貴のデッキのカードが一枚トラッシュに置かれた

勇貴：「なんだ？！デッキ破壊か？！」

弾かれたカードはコスト7の鎧神機ヴァルハランスだった

フラン：「ヒット！その弾いたカードのコストが、このアルティメットのコストより低ければ、ヒットとなり、効果を発揮できる。それが、アルティメットにのみ与えられた能力、アルティメットトリガー！そしてこれがメタリフェルの効果！アルティメットトリガーがヒットしたとき、相手のスピリットを二体指定する！その指定したスピリット二体を疲労させ、次の相手のリフレッシュステップでは回復できない！」

勇貴：「なんだと？！」

弾：「仕方がない！」

弾&勇貴：「ライフだ！」

バリーイーン

ライフ7↓6

勇貴：「賢者の樹の実の効果！自分のライフが減ったとき、ボイドからコアを一つ置く！」

フラン：「ターンエンド！」

弾：「一か八か、一気に畳み掛ける！ブレイドラXと戦竜エルギニアスを召喚！さらにもう一体エルギニアスを召喚！そして、太陽よ！炎を纏いて、龍となれ！太陽龍ジークアポロドラゴン、召喚！不足コストはブレイドラから使用！さらに、砲龍バル・ガンナーを召喚！ジークアポロドラゴンにブレイヴ・アタックステップ！ブレイヴスピリットでアタック！そして、クリスタニードルを指定アタック！」

レミリア：「かかったわね！クリスタニードル、破壊時効果！相手のネクサスを一つ破壊！賢者の樹の実を破壊！」

弾：「しまった！ターンエンドだ」

レミリア：「なら、私の本気を少しだけ見せてあげる！まずは、メタリフェルを、LV3にダウン！そしてダークネスワイバーンを召喚！召喚時効果で1枚ドロロー！さらに、いくわよ！見せてやるわ、すべてを薙ぎ払う暗黒の力を！いでよ！対の力を備えし双壁

の魔神！召喚、異魔神ブレイヴ龍魔神！」

弾：「お前も異魔神ブレイヴを使うのか・・・」

レミリア：「龍魔神の力、見せてあげるわ！」

## 第十一話 決着！ 紅魔館大決戦！

前回のあらすじ

勇貴と魔理沙、そしてフランはレミリアに会うことに成功し、フランとレミリアの本気の姉妹喧嘩が勃発した。そんな中弾と霊夢も加わり弾と勇貴が懐かしんでいる中姉妹喧嘩が決着し、フランとレミリアはそれぞれの気持ちを打ち明けた。そして、レミアア&フランVS弾&勇貴のバトルが始まった。静かなバトルが展開されている中、レミアは自身のキーカード龍魔神を繰り出したのだった。

レミリア：「龍魔神の力、見せてあげるわ！アタックステップ！ダークネスワイバーン、アタック！龍魔神の追撃！疲労状態の相手のスピリット一体を破壊！すなわち、レーヴァテインLV2を破壊！そしてこれがメインのアタック！」

弾&勇貴：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ6↓4

レミリア：「ターンエンド」

勇貴：「俺のターンだ！メインステップ！神機グングニルを召喚！さらに三体目の

レーヴァテインを召喚！さらにマジックリロードコアを使用！武装スピリット一体につき、ボイドからコアを一つリザーブに置く！さらに、マジックハンドリバースを使用！自分の手札を全て、破棄し相手の手札と同じ枚数ドロウする！フランの手札と同じ枚数ドロウだ！アタックスステップ！（ライフが三になるまではブロックされることはない！なら、）レーヴァテインアタックだ！

レミアア&フラン：「ライフで受ける！」

勇貴：「やはり、ライフで受けたか！」

バリーイーン

ライフ7↓6

勇貴：「さらにいくぞ！グングニルでアタック！」

レミアア&フラン：「ライフよ！」

バリーイーン

ライフ6↓5

勇貴：「二人のバーストが気になるな・・・。ターンエンドだ」

フラン：「私の番だね！メインステップ！メタリフェルを、LV4に上げるわ！カゲロウ・シーカーもLV4に！これで、自分のアルティメットシンボルは全て、赤／緑としても扱う。マジックネオダブルドロウを使用！デッキの上から二枚ドロウする！さら

に、アルティメットがいれば、もう一枚ドロウできる!これでターンエンド」

弾：「アタックしてこないのか!」

勇貴：「これが彼女のバトルだ!アルティメットには召喚条件というものがあるらしい。ブラム・ザンドの召喚条件、ライフが三以下であること、それを満たすまでアタックしてこないつもりかもしれない」

弾：「一気に畳み掛けるしかないということか。」

勇貴：「そういうことだ」

フラン：「次はそっちのお兄様のターンよ!」

弾：「わかっている!メインステップ!ジークアポロドラゴンをLv3にアップ!アタックステップ!ブレイヴスピリット行け!ダークネスワイバーンを指定アタック!さらに、ジークアポロドラゴンのLv3ブレイヴアタック時効果でアメジスネークを破壊!最後にバル・ガンナーのアタック時効果でクリスタニードルを破壊!」

ダークネスワイバーンはBP比で破壊された

弾：「さらに、エルギニアス二体でアタック!」

レミリア&フラン：「ライフで受ける!」

バリーイーン

らいふ5↓3



レミリア：「バースト発動！自分のライフが三以下のときこのスピリットカードを召喚する！屈強なる伝説の騎士（ナイト）！悠久の時を超え、今甦れ！騎士の霸王ソーディアス・アーサー！LV3！」

空からゆつくりドラゴンのような騎士が降り立った

弾：「ターンエンドだ」

レミリア：「ソーディアス・アーサーに龍魔神の右側をブレイヴ！アタックステップ！ソーディアス・アーサーでアタック！龍魔神の追撃！疲労状態のエルギニアスを破壊！これがメインのアタック！」

勇貴：「俺がマジックを使う！」

弾：「頼む！」

勇貴：「フラッシュタイミング！マジックインフィニティシールド！系統機獣／武装を持つ自分のスピリット全ては疲労状態でブロックできる！レーヴァテインでブロック！」

レーヴァテインはBP勝負で破壊された

レミリア：「ターンエンド」

勇貴：「メインステップ！機人ドロイデンを召喚！さらに、賢者の樹の実を配置！ターンエンド（まずい！ブラムザンドが来る！」

フラン：「私の番だね！メインステップ！まずは、ビートルゴンを召喚！LVは4！バーゴイルを召喚！召喚時効果で1コアブースト！そして、今こそいでよ、究極の闇を纏いし炎よ！地獄の業火で世界を黒く染め上げろ！アルティメット、召喚！獄炎の四魔卿ブラム・ザンド！アタックステップ！ブラム・ザンドでアタック！アタック時効果！ソウルドライブ、発揮！ソウルコアをゲームから除外することで、相手のスピリットをすべて破壊！さらに、次の自分のスタートステップまでスピリットを召喚できない！」

弾：「なんだと?! バル・ガンナーはスピリット状態でフィールドに残る！」

弾&勇貴 「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ4↓3

勇貴：「賢者の樹の実の効果でコアを増やす」

フラン：「ターンエンド！」

弾：「俺のターンだが・・・。」

弾は何もできずにいた。

それもそのはず、

スピリットを召喚できないため、弾ができるのはブレイヴの召喚とマジックを使うことだけだった

弾だが、やらないと何も始まらない！メインステップ！マジックブレイヴドロロー！  
デッキの上から二枚ドロロー！その後、三枚オーブン！その中のバル・ガンナーを手札に  
加える！残りはデッキの上に！もう一体バル・ガンナーを召喚！さらに、雷神砲力ノン・  
アームズを召喚！ターンエンド！」

レミリア：「メインステップ！ダークネスワイバーンを召喚！召喚時効果で一枚ド  
ロー！ダークネスワイバーンを龍魔神の左にブレイヴ！アタックステップ！ダークネ  
スワイバーンでアタック！龍魔神の追撃！バルガンナーを疲労！」

勇貴：「フラッシュタイミングミストカーテン！ダークネスワイバーンを指定！この  
ターンの間そのスピリットのアタックではライフを減らせない！」

弾：「今度は俺だ！霊夢からもらったカードで！フラッシュタイミング！ファイア  
ウォール」

自分の赤のスピリットを破壊することでこのバトル終了時アタックステップを終了  
する！」

レミリア：「まあ、いいわ！ターンエンド」

勇貴：「メインステップ！ハンドリバーズを使用！レミリアの手札と同じ枚数ドロ  
ロー！つまり、四枚ドロロー！ターンエンドだ」

フラン：「じゃあ私のターンね！メインステップはそのまま、アタックステップ！ブラ

ム・ザンドでアタック!」

弾&勇貴：「ライフだ!」

バリーいーん

ライフ3↓2

勇貴：「賢者の樹の実の効果でコアを増やす」

フラン：「まだまだ、いくよ!メタリフェルLV3でアタック!」

弾&勇貴：「ライフで受ける!」

バリーいーん

ライフ2↓1

勇貴：「賢者の樹の実の効果でコアを増やす」

フラン：「ビートルゴンでアタック!」

弾：「バル・ガンナーでブロック!フラッシュタイミングファイアオール!バル・ガンナーを破壊してアタックステップを終了する!」

フラン：「ターンエンド・・・」

弾：「よし!メインステップ!駆け上がれ神の名を持つ赤き龍!太陽神龍ライジング・

アポロドラゴン!さらに、カノン・アームズをライジング・アポロドラゴンにブレイヴ

!アタックステップ!ブレイヴスピリット!ダークネスワイバーンに指定アタックだ

！さらに、カノン・アームズブレイヴアタック時効果で相手のデッキの上から一枚破棄し、そのカードの色のマジックをこのターンは使えない！そして、ダークネスワイバーンを破壊！ライジング・アポロドラゴン、LV3ブレイヴアタック時効果で龍魔神を破壊！ターンエンド！」

レミリア：「なら、メインステップ！クリスタニードルを召喚！アタックステップ！クリスタニードルでアタック！」

勇貴：「フラッシュタイミングハイエリクサーを使用！自分のリザーブのコア二個をライフに置く！」

ライフ1↓3

弾&勇貴：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ3↓2

勇貴：「賢者の樹の実の効果でコアを増やす」

レミリア：「ターンエンド」

勇貴：「メインステップ！そびえよ！鋼の城！鉄騎皇イグドラシル！さらに、イグドラシルを転召！転召の渦より来たれ白銀の翼！その牙を剥き、力をふるえ！翼神機グラ・ウォーデン！さらに、機人ファイアラルを召喚！ターンエンドだ」

フラン：「なら、またメインステップはこのまま、アタックステップ! ブラムザンドでアタック!」

勇貴：「ここは俺に任せてくれ、弾!」

弾：「わかったよ! 頼んだ!」

勇貴：「グランウオーデンでブロック!」

フラン：「こちらのブラム・ザンドの方が、BPは上よ!」

勇貴：「フラッシュタイミング、機人フィアラルを疲労させ、BP+4000! グランウオーデンのBPは14000! さらに、武装スピリット回復により、グランウオーデンは回復! 弾、後は頼んだ!」

弾：「ああ! フラッシュタイミングマジックブレイヴドローBP+2000! さらにフラッシュタイミング! マジック、リバイヴドロー! フィアラルは消滅! グランウオーデンにさらにBP+2000! 合計BPは18000!」

フラン：「じゃあ、フラッシュタイミング! ネオハンドリバーズを使用! ブラム・ザンドにBP+5000!」

勇貴：「そうはさせない! グランウオーデンの氷壁の効果! そのマジックの効果無しにする!」

激闘の末、ブラム・ザンドは破壊された

フラン：「でも、ブロッカーは0！この勝負私達の勝ちよ！メタリフェルでアタック！」

勇貴：「これが俺の最後の手札だ！フラッシュタイミング！サイレントウォール！このバトル終了時アタックステップを終了する！」

弾&勇貴：「ライフで受ける！」

バリーイーン

ライフ2↓1

勇貴：「賢者の樹の実の効果でコアを増やす」

フラン：「ターンエンド」

弾：「メインステップ！ライジング・アポロドラゴンを再びLV3にアップ！アタックステップ！ブレイヴスピリットでアタック！ソーディアス・アーサーを指定アタック！カノンアームズの効果で一枚破棄し、このターンレミア、お前は紫のマジックは使用できない！さらに、フラッシュタイミング！ブレイヴオーラ！ブレイヴスピリットにBP+4000！よってBPは20000！さらにフラッシュタイミング！もう一枚ブレイヴオーラ！BP+4000！BPは24000だ！」

激闘の末ソーディアス・アーサーは破壊された

弾：「ターンエンドだ」

レミリア：「好き勝手してくれたわね!メインステップ!アイランドルートを配置!  
効果で一枚ドロ!ターンエンド!」

勇貴：「ライジングアポドラゴンにコア五つを残して、それ以外はリザーブへ!グラ  
ンウォーデンをLV3にアップ!マジックハンドリバースを使用!レミリアの手札と  
同じ枚数ドロ!する!機人フィアラルを新たに召喚!神機グングニルを召喚!さらに  
もう一体!賢者の樹の実をLV2にアップ!アタックステップ!グランウォーデンで  
アタック!さらに、フラッシュタイミング!バーストブレイク!フランのバーストを破  
棄!」

フラン：「なっ?!ビートルゴンでブロック!」

ビートルゴンは破壊された

勇貴：「グングニルでアタック!グングニル疲労につき、グランウォーデンは回復!」

レミリア：「ここはライフで受けましょう!」

フラン：「わかったわ、お姉さま!」

レミリア&フラン：「ライフで受ける!」

バリーイーン

ライフ3↓2

勇貴：「グランウォーデンでアタック!」



フラン：「カゲロウ・シーカーでブロック！」

カゲロウ・シーカーは破壊された

勇貴：「グングニルでアタック！グランウオーデンは回復」

レミア&フラン：「ライフで受ける！」

バリーーン

ライフ2↓1

勇貴：「もう一度グランウオーデンでアタック！」

フラン：「お姉さまのクリスタニードルでブロック！」

クリスタニードルは破壊された

フラン：「クリスタニードルの破壊時効果賢者の樹の実を破壊！やられたら倍で返さ

なくちや！」

勇貴：「だが、まだアタックステップは続くぞ！だが、俺が決めてもいいか？弾。」

弾：「ああ！構わないさ！」

勇貴：「ならいくぞ！ファイアラルでアタック！グランウオーデンは回復！」

フラン：「ビートルゴンでブロック！」

ビートルゴンは破壊された

勇貴：「これで止めだ！グランウオーデンでアタック！」

レミリア：「ここまでね・・・」

レミリア&フラン：「ライフで受ける!」

バリーイーン

ライフ1↓0

弾はレミリアとフランに手を差し伸べる

弾：「ありがとうございます! いいバトルでした!」

レミリア：「あなた、変な人間ね。」

弾：「よく言われるよ。」

魔理沙：「フラン、どうだ? 吹っ切れたか?」

フラン：「うん!」

魔理沙：「なら、良かった!」

霊夢：「まあ、あいつ達が解決してくれたおかげで、仕事の手間が省けたわ」と思い思いに話をしていたのだった

## 第11. 5話 これまでの軌跡弾&霊夢編（第1章〜第2章）

ここは博麗神社、この間起こった紅霧異変について話し合っているとところだった

弾：「この間のバトルはいいバトルだったな、勇貴。」

勇貴：「ああ。彼女たちもかなりの強豪だったからね。」

霊夢：「そういえば、あんた達が来てからそんなに立ってないはずなのに、色んなことがあったわね。」

魔理沙：「じゃあさ！弾と勇貴が来てからであつたスピリットたちの振り返りでもないか？」

と魔理沙が言うそれに対して弾は

弾：「いいな、それ。」

だが、その間に霊夢が割つて入る

霊夢：「ちよい待ち！弾と勇貴は当たり前のようにここにいてるけど、あんた達をここに寝泊まりさせるなんて、言つた覚ええないからね!!」

と不満を口にする

魔理沙：「まあまあ、いいじゃないか！一日くらい、な！」

と霊夢を諭す

霊夢：「わかったわよ！一日だけよ！」

弾：「ありがとう、助かるよ。」

勇貴：「恩に着る」

魔理沙：「おっと！脱線しちまったな！じゃあ、早速いくぜ！今まで登場したスピリットや、ブレイヴ、そしてアルティメットをピックアップして紹介していくぜ！じゃあまず……」

弾：「まずは俺のカードからだな！まずはこいつだ！太陽龍ジーク・アポロドラゴンだ！こいつはここに来てから初めてバトルした霊夢との対戦で初めて使ったキースピリットだったな！」

霊夢：「そうね。あの時はコテンパンにされたのよね。」

魔理沙：「私と勇貴はその場になかったからどうにも口を出せないな……。弾！ジーク・アポロドラゴンの効果説明と口上頼むぜ！」

弾：「ああ！召喚口上は、太陽よ、炎を纏いて龍となれ！太陽龍ジーク・アポロドラゴン召喚！そして、効果はこんな感じだ」

太陽龍ジーク・アポロドラゴン コスト6 軽減シンボル赤2青2 系統神星・星竜

LV1 BP4000

LV2 BP6000

LV3 BP9000

LV1 LV2 LV3 「このスピリットのアタック時」

回復状態の相手のスピリット一体を指定してアタックできる。

ブレイヴ時 LV3 「このスピリットのアタック時」

BP9000以下の相手のスピリット一体を破壊する

弾：「ジーク・アポロドラゴンは赤属性らしい攻撃的なスピリットだ！そしてこいつはブレイヴすることで真の力を発揮できるぞ！少しでもブレイヴも紹介するぞ！砲竜バル・ガンナーだ！効果はこんな感じだ！」

砲竜バル・ガンナー コスト4 軽減シンボル赤2 系統地竜・星竜

LV1 BP2000

ブレイヴ時 BP+2000

ブレイヴ条件コスト4以上

ブレイヴ時 「このスピリットのアタック時」

自分はデツキから1枚ドロし、BP4000以下の相手のスピリットを一体破壊する

弾:「これが俺の使うブレイヴ、砲竜バル・ガンナーだ!続けて紹介するのはこいつだ!駆け上がれ!神の名を持つ赤き龍!太陽神龍ライジング・アポロドラゴン、召喚!そう、太陽神龍ライジング・アポロドラゴンだ!まずは、こいつの効果からだ!」

太陽神龍ライジング・アポロドラゴン コスト7 軽減シンボル赤3 系統神星・星竜

LV1 BP6000

LV2 BP9000

LV3 BP11000

LV1 LV2 LV3 「自分のアタックステップ」

系統星竜を持つ自分のスピリット全ては、アタックするとき相手のスピリット1体を指定し、そのスピリットにアタックできる

ブレイヴ時LV3 「このスピリットのアタック時」

BPを比べて相手のスピリットだけを破壊したとき、相手のスピリット/ブレイヴ/

ネクサス、どれか一つを破壊する

弾：「これが俺のもう一体のキースプリットだ！このスピリットもブレイヴしていると、真価を発揮できるぞ！そしてライジング・アポドラゴンと相性のいいブレイヴはこいつだ！武槍鳥スピニード・ハヤトだ！こいつの効果はこんな感じだ！」

武槍鳥スピニード・ハヤト コスト5 軽減シンボル緑2赤2 系統爪鳥

LVI BP5000

ブレイヴ時 BP+5000

ブレイヴ条件コスト5以上

ブレイヴ時「自分のアタックステップ」

ステップ開始時、色1色を指定する

このターンの間、このスピリットは指定した色を持つ相手のスピリットにブロックされた時回復する

弾：「スピニード・ハヤトをブレイヴすることでライジング・アポドラゴンは連続アタックが可能になり、さらに、相手の盤面がなくなるまで暴れまくるぞ！さあ、俺のカー

ドの紹介は以上だ！次は霊夢の番だ。」

霊夢：「はあく。なんで、弾は乗り気だったのよ。まあいいわ。まず紹介するのは、舞い降りよ、炎の天馬！庚天獣レイアント・ペガス！効果はこんな感じよ！」

庚天獣レイアント・ペガス コスト5 軽減シンボル赤3 系統十冠・皇獣

LV1 BP5000

LV2 BP7000

LV3 BP10000

LV1 LV2 LV3 「このスピリットの召喚時」

自分のデッキの上から5枚オープンできる。その中のブレイヴカードと、系統神皇を持つスピリットカード1枚ずつを手札に加える。残ったカードは破棄する。

ブレイヴ時Lv2 LV3 「このスピリットのアタック時」

相手のスピリット1体を指定してアタックできる。BP1000以下の相手のスピリットにブロックされたとき相手のライフのコア1個をリザーブに置く。

霊夢：「まあ、こんな感じよ。レイアント・ペガスで回収できるのは後に紹介するあのスピリットと、私の持つ異魔神ブレイヴだけだけど、これは異魔神ブレイヴはまだけせてないから割愛するわ。そしてお次に紹介するのは、疾風の如く大地をかける！



召喚、午の十二神皇エグゼシード！エグゼシードは十二神皇の一体で、幻想郷ではかなり貴重なカードよ。効果はこんな感じ。」

午の十二神皇エグゼシード コスト8 軽減シンボル赤4 系統 神皇・皇獣

LV1 BP15000

LV2 BP20000

LV3 BP25000

LV4 BP35000

LV1 LV2 LV3 LV4封印「このスピリットのアタック時」

このスピリットのソウルコアを自分のライフにおける

封印時 LV1 LV2 LV3 LV4

系統 神皇／十冠を持つ自分のスピリット全てに走破「このスピリットのアタック時」相手のスピリット1体を指定してアタックできる。ブロックされたバトルの終了時このスピリットのシンボル一つにつき、相手のライフのコア1個を相手のリザーブに置くを与える

LV2 LV3 LV4「このスピリットのアタック時」

BP15000以下の相手のスピリット1体を破壊できる。

霊夢：「エグゼシードの最大の強みは走破を自分自身にも付与できることプレイヴしていたらライフを大量に破壊できるわ！さらにBPも高いからほぼ負けられないから、破壊されることも少ないしね！じゃあ、私のカードの紹介は以上よ！次は誰がするの？順番的には魔理沙だけど？」

魔理沙：「尺的に無理だな」

霊夢：「は？あんたね〜！私のカードも紹介してあげたんだから、あんたのも紹介しなさいよ！」

魔理沙：「わかったよ！じゃあ、私と勇貴は次回つてことでもいいか？勇貴も。」

勇貴：「それで構わない」

霊夢：「ちよつと次回つて何？どういう意味よ！」

魔理沙：「じゃあ尺もやばいから、今回はこのへんで終わりだ後編に続く！」

# 第11. 5話後編 これまでの軌跡 勇貴&魔理沙編

## (1章〜2章)

魔理沙：「前は、霊夢と弾のキーカードを紹介したから、今度は私と勇貴のキーカードを紹介するぜ！まずは、私のキーカードからだ。轟け、我が魂の叫び！戦いの嵐を呼び起こせ！申の十二神皇ハヌマリン！こいつは、霊夢のエグゼシードと同じ十二神皇の一体だ！効果はこんな感じだ！」

申の十二神皇ハヌマリン コスト6 軽減シンボル黄3青1 系統 神皇・想獣

LV1 BP10000

LV2 BP12000

LV3 BP15000

LV1 LV2 LV3 封印「このスピリットの召喚時」

自分のリザーブのソウルコアをライフに置ける

LV1 LV2 LV3 「お互いのアタックステップ」

自分の手札のアクセルをコストを支払わずに使用できる

そうしたとき、手元に置かずに、コストを支払わずに召喚できる

封印中LV3「自分のアタックステップ」

系統 神皇／十冠を持つ自分のスピリットがアタックしている間、LV1／LV2の相手スピリット全てはブロックできない

魔理沙：「まあ、こんな感じの効果だな！注目すべきはアクセルをノーコストで打てる効果だな！アタックステップ中ならいつでもタダで打てるから防御もし放題だぜ！」

勇貴：「マジックやアクセルを多用する黄色らしい効果とも言えるな。」

魔理沙：「お次はこいつ！見せてやる、天地を揺るがす魔神の力！異魔神ブレイヴ天魔神！そう！私の異魔神ブレイヴだ！早速だが効果はこんな感じだ！」

天魔神 コスト5 軽減シンボル黄2赤2 系統 異魔神・天霊

LV1 Bp4000

ブレイヴ時BP+4000

右ブレイヴ条件コスト4以上

右ブレイヴ時「このスピリットのアタック時」

BP6000以下の相手のスピリットを一体破壊する。そうしたとき、相手のネクサ

ス一つを破壊する

左ブレイヴ条件コスト4以上

左ブレイヴ時「このスピリットのアタック時」

このターンの間相手のスピリット一体のBPをー4000する

魔理沙：「こんな感じの効果だぜ！異魔神ブレイヴだから左右にブレイヴ出来る！さらに、左右でそれぞれ効果が違うから状況に応じて付替できるのも強みだぜ！」

勇貴：「弾の使うブレイヴも俺のいた時代から考えると驚きだが、異魔神ブレイヴもかなり面白い効果をしているな。」

魔理沙：「次は勇貴の番だぜ！」

勇貴：「ああ、まずはこのスピリットだ！聳えよ、美しき鋼の城！鉄騎皇イグドラシル！イグドラシルの効果はこんな感じだ。」

鉄騎皇イグドラシル コスト6 軽減シンボル白3 系統 動器・戦騎

LV1 BP5000

LV2 BP7000

LV3 BP9000

LV1 LV2 LV3 「このスピリットの召喚時」

BP3000以下のスピリットすべてを手札に戻す

LV2 LV3

自分の白のスピリット全てに「装甲赤／白このスピリットは相手の赤／白のスピリット／ネクサス／マジックの効果を受けない」を与える

勇貴：「これがイグドラシルの効果だ。召喚時は敵味方問わず、手札に戻すが、装甲をばらまく効果はかなり強力だ！さて次はこいつだ！鋼の如き、氷河を砕き現れよ！絶対零度の軍神！鎧神機ヴァルハランス！早速効果だ。」

鎧神機ヴァルハランス コスト7 軽減シンボル白3 系統 武装・戦騎

LV1 BP6000

LV2 BP7000

LV3 BP10000

LV1 LV2 LV3 装甲∞

このスピリットは相手のフィールドにあるシンボルと同じ色を持つ相手のスピリット／ネクサス／マジックの効果を受けない

LV2 LV3 「このスピリットのバトル時」

系統「武装」を持つスピリット一体を疲労させることで、このスピリットをBP+(疲労させたスピリットのBP)する。

LV3 「このスピリットのアタック時」

BP4000以下の相手のスピリットすべてを手札に戻す

勇貴：「このような効果だ！この中でも特に目を引くのは、装甲∞だな。アルティメットとブレイヴの効果以外の効果を受けないから、鉄壁の防御を誇る白らしい効果とも言える。次は、このスピリットだ！転召の渦より来たれ、白銀の翼！その牙を剥き、力をふるえ！翼神機グラン・ウオーデン！効果はこのような感じだ！」

翼神機グラン・ウオーデン コスト8 軽減シンボル白5 系統 武装・戦騎

LV1 BP8000

LV2 BP9000

LV3 BP10000

転召：コスト5以上/ポイド

召喚コスト支払い後、自分のコスト5以上のスピリット一体の上的コアすべてをポイ

ドに置かなければならない

LV1 LV2 LV3 「氷壁：赤／紫／緑／白／黄／青」「相手のターン」

相手が赤／紫／緑／白／黄／青のマジックの効果を使用した時、このスピリットを疲労させることで、その効果を無効にする

LV2 LV3

「翼神機グラン・ウォーデン」以外の系統武装を持つ自分のスピリット以外のスピリットが疲労した時、このスピリットは回復する

シンボル白2

勇貴：「これがこのスピリットの効果だ。最大の特徴は氷壁の効果だな」

魔理沙：「しかも全色の氷壁だもんなく」

勇貴：「しかも、武装スピリットが疲労するたびに回復できるから何回でもアタックできるダブルシンボルスピリットだ！というわけでこんなものか？」

霊夢：「ふう。終わった？めんどくさいし、さっさと終わらせましょう？」

と霊夢が言った矢先、扉が開く音がした

霊夢：「はあく。めんどくさい奴らが来た。」



そこにいたのはレミリアと咲夜だった

レミリア：「閉めようとしていた所悪いわね。弾にこのカードを渡そうと思って来たのよ。」

弾：「俺に？」

レミリア：「ええ、そうよ。あなたならこのカードを使いこなせるんじゃないかしら？」

弾：「これは!!レミリア、ありがとうな！」

レミリア：「あと、なんであなたたちのカードだけ紹介されてるの! 私達のは!!」

魔理沙：「わかったわかった。じゃあまた今度なこちとら、尺押してるんだよ前編と後編やつちまつてるし」

咲夜：「魔理沙さすがにメタイわ・・・」

魔理沙：「まあ、他にもいろんなスピリット達が出てきたし、さらには、今後もたくさんのスピリットが出てくるから楽しみにしてくれよな!というわけで」

一同「今後もよろしくおねがいします」